

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。

様式第3号

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	当事業所が運営する宿泊施設LINK HOUSEにおいて、性別、年齢、人種、出身などによる差別を行うことなく、すべてのお客様にご満足頂けるサービスを提供差し上げることを基本理念としている。					○			○		○						○		
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	当事業所が運営する宿泊施設、また、エコツアーにおいて、お客様に接するとき、また、会話をするときは、セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメント行為がないよう、スタッフまたは、エコツアーを行うガイドに指導をしている					○			○									○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	宿泊部門サービスにおいては特に、利用者にサービス提供時間を正確に伝達することにより、スタッフの休憩時間の確保に務めている。									○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	「予定」外国人労働者を雇っていない、今後状況に応じて、外国人労働者を受け入れる体制づくりを検討していく予定。				○					○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	当事業所が運営する宿泊施設においては、食事の提供も行っているため、常に食品衛生法を順守した衛生管理、、常に衛生管理、感染症対策を意識した安全・衛生管理を徹底している。			○						○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・【予定】メンタルヘルスに関する方針と計画の策定 するために必要な知識や、他社の取り組みなどへの理解を深めるため、地域組織(商工会議所)などが行っている講習会に参加し、自事業所の方針を決めていく。			○															
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・障がいの種類や程度に応じた安全管理や安全確保のための施設等の整備、職場環境の改善を行っている					○				○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会				○						○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済					○					○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済										○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
1	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	廃棄物をできるだけ少なくする、廃棄物となるものはリサイクルできるような製品の仕入れを行っている。また、宿泊施設利用者にも、廃棄物削減への協力を呼びかけている。その他、宿泊客に提供するアメニティは、可能な限り、廃棄物が出る形の物は避け、適切な消毒を行った上で再利用している。											○	○		○				
2	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	一年を通しての光熱水道の使用量をグラフ化し、その推移を踏まえた省エネ計画の策定と推進を行っている。特に富士北麓地域は冬の寒さが非常に厳しいため、真冬のエアコン使用量を少しでも削減するため、利用者には事前に地域の平均気温を伝え、それに見合った衣服を用意して頂くことで、エアコンの使用量を抑えている。							○						○					
3	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	自社で一番温室効果ガスを排出しているものは、各客室などに設けられた「エアコン」であるが、エアコンの使用量を極力減らすため、断熱遮熱効果の高いサッシや複層ガラスを全館開口部に導入したほか、利用者にもエアコンの使用量をセーブするように協力を呼びかけている。							○						○	○				
4	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	「非該当」 当施設の事業内容(宿泊施設運営およびエコツアー実施)には、法令等で禁止されている有害化学物質等を使用する業務は一切行っていない			○			○						○	○					
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	当施設の事業活動で使用する洗剤、消毒液等、排水として流出する物質に関しては、常に環境に負荷をかけない原材料を使用しているものを選択して使用している。						○										○		
環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	当事業所宿泊施設の浴室利用時は、利用者が正しく水を止められるよう、「止」マークを強調するテープをつけて、水の出しっぱなしを防止している。また、この地域は冬が極寒であるため、冬季は夜間水道を出しっぱなしにすることで凍結防止を図っているが、それを行わなくても凍結しない施工を施している。						○												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○			
	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	当事業所のSDGsに対する取り組みを自社HPにて紹介している。また、掲載中の宿泊サイトにもその取り組みを公開し、サステナブルツーリズム参画施設としてのバッジを受けている。その他、富士吉田商工会議所SDGs推進事業者としての認証を受け、地域の事業者にもその取組情報を発信している。													○					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	当事業所が運営する宿泊施設内で使用するお湯は、太陽光エネルギーを使用して電気・ガスの使用量を減らしている。							○							○				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境														○	○	○	○		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	当事業所が運営する宿泊施設で出されるごみの削減のため、リサイクルできるもの(ペットボトル、食品トレーなど)はすべてリサイクルステーションに搬入している。また、施設利用者にもごみの削減を呼びかけ、ごみの分別にもご協力を頂いている。						○							○	○	○	○		
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職・贈収賄等の行為は、事業所規程として一切禁止している。																	○	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	当事業所の運営する宿泊施設のプラン内容、また、エコツアーの実施内容、また、その価格においては、常に事業所内で企画したものを採用し、他社のものをコピーしたりしない、また、それにとない、不正な競争行為を行わないことを基本方針としている																	○	
	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	当施設が実施するエコツアーで使用している、参加者の理解を深めるために用いている資料や写真等は、専ら事業所が独自に撮影、作成したものを使用し、サイトなどから引用したものを用いるときは、必ず、著作権について確認し、資料等には引用元を明記したものを使用している。									○	○								
公正な事業 履行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	当施設をご利用くださる方々の個人情報は、施設管理入室にて極秘管理している。また、施設スタッフが使用するインターネットネットワークは、利用客とは別の回線を用意し、外部から侵入されることが無いよう、高いネットワークセキュリティにて保護している。																○		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○		
7	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会						○		○		○			○	○	○	○	○	○	

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
製品・サービス	28 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	当事業所が提供しているサービス利用時に想定されるリスクの洗い出しと、イメージトレーニングを行い、問題に早急に対処できる体制を常に整えている。また、万が一の時を想定し、必要な保険にはすべて加入している			○									○					
	29 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	利用者にクオリティの高いサービスを提供するため、顧客の声を常に伺い共有する体制を取っている。また、「サービスの範囲」を正確に利用者に伝え、応えることができない無理な要求がおこならない体制をとることにより、クレーム防止につなげている。									○								
	30 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○		
	31 【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	当事業所が行うエコツアーの中では、地域の自然、歴史、文化を参加者に紹介するだけではなく、地域で起こっている環境問題についても参加者に伝達している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32 【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	当事業所宿泊施設は、市街地に所在するため、利用者の行為が近隣居住者の迷惑とならないよう、細心の注意を払っている。利用者にも協力をよびかけている。エコツアー事業においては、地域協議会に加入し、環境に負荷をかけないツアーの形を指示する「エコツアーガイドライン」を順守したうえでツアーを行っている。				○					○		○			○	○		○
	33 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	富士山麓環境保全団体(NPO)の会員として、富士山麓地域全体の清掃活動に定期的に参加している。また、全国の学校団体などを対象にエコツアーを実施するNPOの会員として、富士山麓地域を訪れる学校団体に地域の自然を紹介している				○							○			○	○		○
	34 【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	当事業所が行うエコツアーにおいては、地域の観光資源(自然、歴史、文化)を参加者に伝えられる場所を選定し、地域の魅力を発信している								○	○		○	○	○				
組織体制	35 【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	旅館業法、食品衛生法、消防法が指示する感染症対策、また、エコツアー事業においては、「富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン」を熟知し、法令やルールに違反する行為は一切行わないよう、チェックリストを用意して、常にその内容を確認している。																○	
	36 【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	事業所理念を文章化して、いつでも常にみられるようにしている。								○	○								○
	37 【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	旅館業法、食品衛生法、消防法、エコツアー事業においては、「富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン」を熟知し、法令やルールに違反する行為は一切行わないよう、チェックリストを用意して、常にその内容を確認している。																○	
	38 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																	○	
	39 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	宿泊施設内、また、エコツアーにおいて起こり得るリスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている。リスクマネジメントの上で必要なことは、常に利用者にも伝達している																○	
	40 【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会																	○	
	41 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																	○	○
	42 【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	地域で起こりうる災害(特に噴火)は常にハザードマップを確認し、利用者を正確に避難場所へ導く方法を立案している。 また、コロナ禍に入ってから、施設内で感染者が発生してしまった場合の対処や事業中断について、早急に対応が取れるよう、対策を考えている。									○		○		○			○	

